

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者

住所 東京都練馬区豊玉北6-12-1
氏名 練馬区長 前川 耀男

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1(1)①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名	練馬区立みらい青空学園ねりっこ学童クラブ							
2	学童クラブの所在地	郵便番号	176-0005	住所	東京都練馬区旭丘2-40-1				
3	設置・運営形態	公設民営							
4	設置主体	名称	練馬区						
		住所	郵便番号	176-8501	住所	東京都練馬区豊玉北6-12-1			
		代表者	練馬区長 前川 耀男						
5	運営主体	名称	株式会社東急キッズベースキャンブ						
		住所	郵便番号	211-0063	住所	神奈川県川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス18階			
		代表者	代表取締役 島根 太郎						
6	学童クラブ事業開始年月	令和	8	年	4	月			
	認証学童クラブ事業開始年月	令和	8	年	4	月			
8	支援単位(※1)の状況	支援単位A	専用区画面積	学童クラブ	76.63	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)	1.91	m ²
			児童数	40名					
			職員体制	放課後児童支援員(常勤)	1	名	放課後児童支援員(非常勤)	1	名
			補助員(常勤)	0	名	補助員(非常勤)	1	名	
9	開所時間	平日	放課後から	19時	まで				
		土曜日・長期休業期間	8時	から	19時	まで			
10	国庫補助の有無	有							
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無	有							
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無	有							
13	長期休業期間中の昼食提供	有	夏季休業期間	29	日間提供	提供方法	その他(区と協定を締結している事業者が保護者の発注に基づき手配)		
				(42)	(夏季休業期間の全日数)				
			冬季休業期間	(13)	日間提供	提供方法			
				(12)	(冬季休業期間の全日数)				
		有	春季休業期間	8	日間提供	提供方法	その他(区と協定を締結している事業者が保護者の発注に基づき手配)		
				(12)	(春季休業期間の全日数)				
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有(別紙様式2のとおり)						
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有(別紙様式2のとおり)						
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無	有	令和	12	年度	受審予定			
16	直接契約の有無(民設民営の場合のみ)								
17	利用料	月額	最大8,000	円					
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)							

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、第1号様式乙に記載ください。

第1号様式乙

支援单位名称	支援単位ごとの状況										
支援単位B	専用区画面積	学童クラブ	76.63	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)					1.91	m ²
	児童数	40名									
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)			1	名	放課後児童支援員(非常勤)			1	名
補助員(常勤)			0	名	補助員(非常勤)			1	名		
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)						m ²
	児童数	名									
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)				名	放課後児童支援員(非常勤)				名
補助員(常勤)				名	補助員(非常勤)				名		
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)						m ²
	児童数	名									
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)				名	放課後児童支援員(非常勤)				名
補助員(常勤)				名	補助員(非常勤)				名		
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)						m ²
	児童数	名									
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)				名	放課後児童支援員(非常勤)				名
補助員(常勤)				名	補助員(非常勤)				名		
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)						m ²
	児童数	名									
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)				名	放課後児童支援員(非常勤)				名
補助員(常勤)				名	補助員(非常勤)				名		
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)						m ²
	児童数	名									
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)				名	放課後児童支援員(非常勤)				名
補助員(常勤)				名	補助員(非常勤)				名		
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)						m ²
	児童数	名									
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)				名	放課後児童支援員(非常勤)				名
補助員(常勤)				名	補助員(非常勤)				名		

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
◎コーチングを主体とした日常的な関わり 職員はコーチングを主体として児童に関わり、児童の意思を傾聴・承認し、主体性を引き出す声かけを大切に關わる。 ◎意見表明の機会の保証 ・キッズミーティング（こども会議）の実施 ・こども面談の実施	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数	具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎 日	■体育館、校庭など学校施設を利用した遊びの実施 主に毎日の自由遊びの中で、走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動技能の発達につながる遊びを提案・実施し、心身の発達を支援する。（集団運動遊び、リレー、球技など） ■学童クラブ室内での遊びの実施 活動の間の時間などを利用して、クラブ室内でも安全に行える遊びを実施し、継続的な発達を支援する。（バランスゲームやだるまさんが転んだなどの室内で行える運動遊び）
「製作活動等」	毎 日	・毎日自由に製作活動に取り組む事ができる「工作コーナー」をクラブ室内に設置する。 ・職員は自由な発想が拡大していくような声かけを心がける。 ・新たな手法を学ぶ機会としての製作の行事も毎月実施していく。
「地域の文化等に触れる体験」	2 回	学校応援団や児童館等の近隣施設、また小・中学校や近隣大学、商店会との連携を行い、地域で行われている行事への参画を図る。 ◎学校応援団との連携行事 ◎地域の児童館との連携活動 等
「自主学習」	毎 日	入室後に児童が自主的に学習に取り組めるスペースと時間を確保する。 ・職員は、入室後の児童とのコミュニケーションの中で宿題の有無や、自主学習の有無について確認し、取り組みの計画について児童の意思を尊重した相談を行う。 ・取り組み後も、取り組んだ内容について職員が承認の声かけを行うことで、自発的に取り組む意欲を引き出す。
「児童の意見を反映させた行事」	4 回	◎キッズミーティング（こども会議）内で実施したい行事の意見聴取 ◎こども主体による行事の実施 ◎リクエストおやつの実施

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----